



第 25 号

—令和3年1月10日発行—

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団  
**秋田県点字図書館**

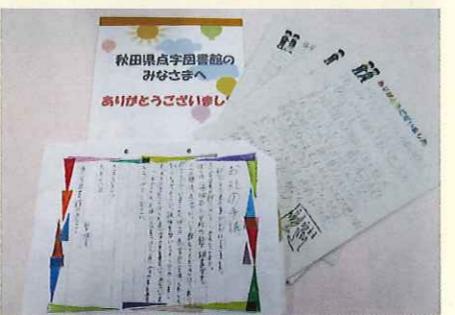
011-0943 秋田市土崎港南三丁目2番58号  
電話 018(845)0031・貸出018(853)4035  
FAX 018(845)7772  
e-mail tenji@fukinoto.or.jp  
P <http://www.fukinoto.or.jp/tenji>



写真は一昨年のものです

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| あ | い | う | え | お | は | ひ | ふ | へ | ほ |
| か | き | く | け | こ | ま | み | む | め | も |
| さ | し | す | せ | そ | や | ゆ |   | よ |   |
| た | ち | つ | つ | と | ら | り | る | れ | ろ |
| な | に | ぬ | ね | の | わ |   | を |   | ん |

点字五十音表



# 点訳ボランティア

製作は一人の力だけではできません。点訳者・校正者・判定校正者3人のチームワークの成果です。製作数が増えると利用者の方々の選択肢が広がり、読書の楽しみも増加。まさに相乗効果です。

来年も引き続き、蔵書製作、プライベート点訳、小学校点字体験教室など、マスクなしで皆さんと平穏な活動ができるることを願っています。

秋田県点字図書館の音訳部門では蔵書製作の他、定期刊行物の製作も行っています。朝日新聞、さきがけ新聞、PHPスペシャル、週刊文春、明日の友等です。

朝日新聞、さきがけ新聞、PHPスペシャルは今までテープ版のみでしたが、今年の4月からデイジー版の製作も始めました。デイジー版を始めてから新たにご利用いただいた

音  
訳

コロナ禍の巣ごもりが転じて、点訳製作数が大幅にアップしました。

ボランティアの皆さんから「点訳する本ありますか?」「次の本送ってください」と次々に連絡が入り、一時点訳する本がなくなるという事態となりました。皆さんのがんばり熱意には感服させられました。

製作は一人の力だけではできません。点訳者・校正者・判定校正者3人のチームワークの成果です。製作数が増えると利用者の方々の選択肢が広がり、読書の楽しみも増加。まさに相乗効果です。

来年も引き続き、蔵書製作、プライベート点訳、小学校点字体験教室など、マスクなしで皆さんと平穏な活動ができるることを願っています。

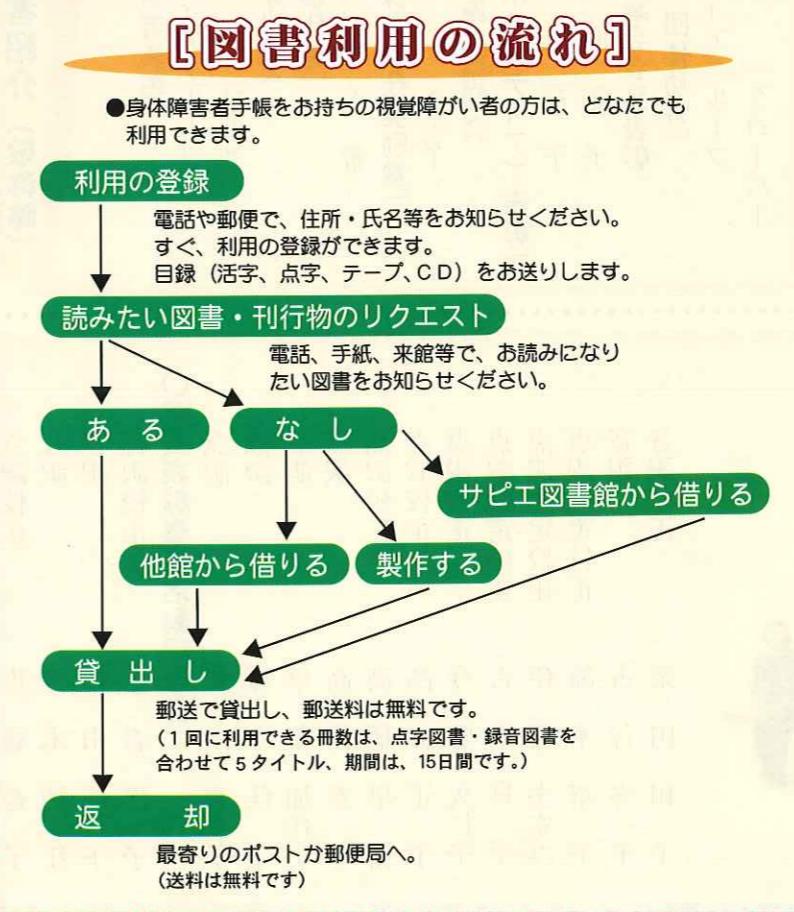
週刊文春、明日の友等です。

朝日新聞、さきがけ新聞、PHPスペシャルは今までテープ版のみでしたが、今年の4月からデイジー版の製作も始めました。デイジー版を始めてから新たにご利用いただいた

只言

点訳・音訳・貸出から

方もあり、より多くの利用者のもとに届ける  
ことができ嬉しく思つております。  
新聞の製作では各号の担当ボランティアが  
皆様にお伝えしたいと思う記事を選び、配分  
を考えながら試行錯誤して製作しています。  
週刊文春、明日の友は音訳、校正、編集ボ  
ランティアの力を総動員して取り組んでいま  
す。少しでも早く利用者の皆様にタイムリー  
な話題をお届けできるよう奮闘していきます。





## 夏休み点字図書館体験

感染症対策をとりながら、総勢55名の方々に参加していただきました。

当日は、子ども達が点字を打つたり読んだりする体験、音声で録音する体験、そして「点字でアート」と題し、6つの点でオリジナル作品作りを行うなど、和やかな雰囲気の中で体験学習を行いました。

館内見学の際や、各体験学習の際は、子どもたちから多くの質問があり、関心を持つてくれていることに嬉しくなりました。

この催しは、今後も内容の充実を図りながら継続していきたいと思います。

笑う門には福  
来ると云います  
思いどおりに  
いかないことも  
あるかと思いま  
すが、明るい  
ニュースが生ま  
れる年にしたい  
と思います。本  
年もどうぞよろ  
しくお願ひいた  
します。

皆様には、お健やかに新春を迎えたことと、お慶び申し上げます。

みなさまにとつて、穏やかで、幸せな一年になることを心からお祈り申し上げます。

昨年は特別な年でした。

当館では見えない、見えにくい方がサービスを知ること、このサービスを使うとこんな生活になると思い描くことにつながるような情報提供や活動を引き続き心がけていきたい



週刊文春の音訳製作を「文春祭り」と称しています。理由は、普段はまじめで勤勉なイメージの音訳ボランティアがエネルギーを爆発させる機会となることからでもあります。1冊の週刊誌を16人のボランティアで手分けして一斉に取りかかります。製作日数はわずか4日程度。製作から校正、編集まで一気に取りかれります。金曜日の午前中に約150ページの週刊誌をバラバラにして各々に分け、翌

週の火曜日に完成させて、水曜日には希望する全国の読者の手元に届くように仕上げます。全国12の事業所が当番となつて年間約50回発行される文春の音訳製作をしています。

「週刊文春は毎週木曜日の発売です。!!」

秋田では金曜日です・・・



新年を迎えて

館長熊谷公彦

龍虎斗

